



ゾーニング・配置計画

令和5年10月31日

■主要な公共施設

- ・令和8年に浪江駅周辺の一体整備「浪江駅周辺グランドデザイン」が完成予定。



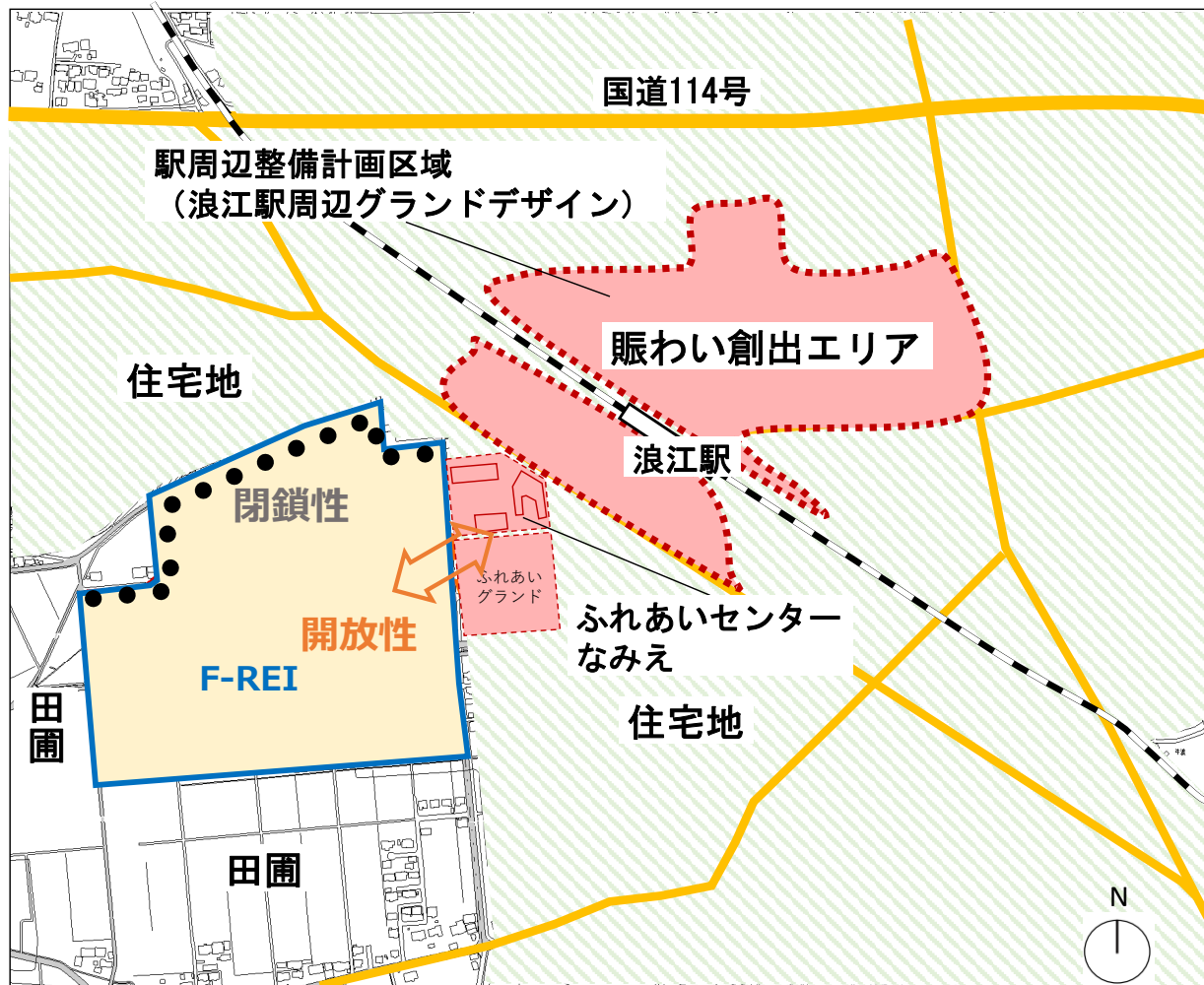
「浪江駅周辺グランドデザイン」

- ・令和4年6月に敷地東側に子供から高齢者までが楽しめる「ふれあいセンターなみえ」が完成。



「ふれあいセンターなみえ」

【敷地周辺拡大図】



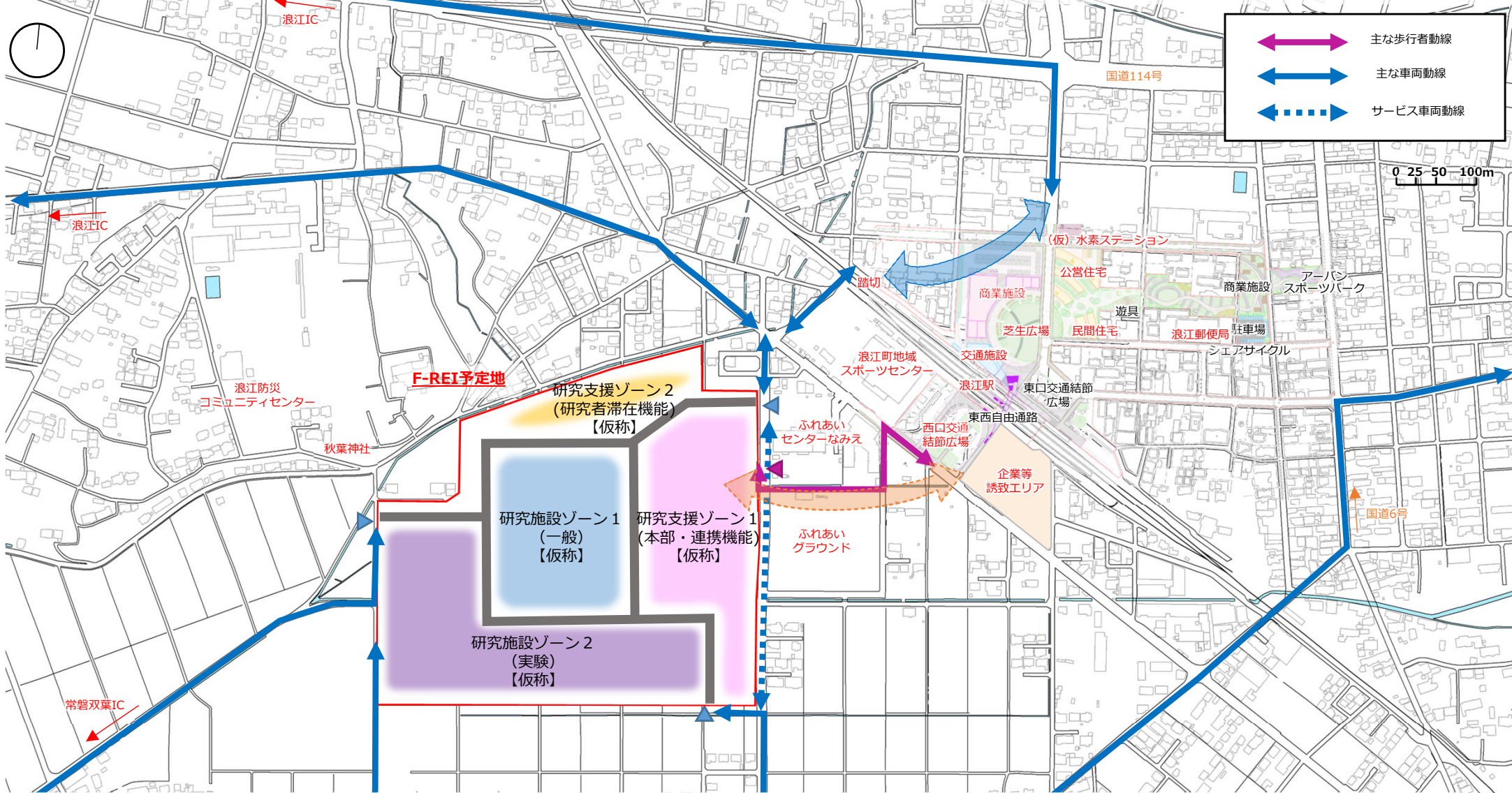
S=1:10000

■敷地周辺の土地利用状況

- ・北側は住宅地、南・西側は田圃が大半を占めている。
- ・東側はふれあいセンターなどの公共施設と一部住宅地がある。

ゾーニングの全体方針

浪江駅周辺整備計画部分出典：浪江駅周辺グランドデザイン基本計画（2022年3月）



- ・敷地東側に不特定多数の利用が見込まれる機能を集約した研究支援ゾーン1（本部・連携機能）【仮称】を配置。
- ・敷地北側は周辺環境等も踏まえて騒音や臭気等の影響を最小限とするため、研究支援ゾーン2（研究者滞在機能）【仮称】を配置。
- ・それ以外は研究実験機能とし、研究支援ゾーンの東側を研究施設ゾーン1（一般）【仮称】とし、敷地西側及び南側に固有実験が入る施設を集約した研究施設ゾーン2（実験）【仮称】を配置しセキュリティや安全対策に配慮する。

（出典：国土地理院）

配置計画

| | |
|--|--|
| <p>研究支援ゾーン1 (本部・連携機能) 【仮称】</p> | <p>〔配置〕 本敷地東側 〔主な施設〕 本部施設、本部機能支援施設、図書・情報施設、講堂・ホール施設等 ・本部施設はF-REIの管理・運営を担う機能、本部機能支援施設は食堂・喫茶、売店、医務室、広報・展示室等その機能を支援するための諸室、図書・情報施設は図書室、サーバー室等、講堂・ホール施設は講堂・ホールや会議室等をそれぞれ設け、F-REIを訪れる様々な訪問者や研究者等の利便性に配慮しつつ、施設相互の連携を図り適正に配置する。</p> |
| <p>研究支援ゾーン2 (研究者滞在機能) 【仮称】</p> | <p>〔配置〕 本敷地北側 〔主な施設〕 短期宿泊施設等 ・圧迫感や日影等も考慮して適正に配置する。</p> |
| <p>研究施設ゾーン1 (一般) 【仮称】</p> | <p>〔配置〕 本敷地中央部 〔主な施設〕 研究実験施設等 ・研究実験施設は研究・実験室、コアファシリティ、会議室等を設け、本敷地内外から見た場合のスカイライン等の景観や圧迫感等の影響に配慮しながら集約して、土地の有効利用に努める。 ・研究者の移動のしやすさを確保するため、他の施設と渡り廊下等で接続する。</p> |
| <p>研究施設ゾーン2 (実験) 【仮称】</p> | <p>〔配置〕 本敷地西側及び南側 〔主な施設〕 固有実験施設等 ・固有実験施設は関連施設との位置関係や騒音振動、洪水対策等施設の特殊性に応じた周辺環境との関係に配慮する。施設の集約化や複合化等を図り、土地の有効利用に努める。</p> |